

飯盛霊園指定管理者候補者の選定について

1、施設名称

飯盛霊園

2、指定期間

令和9年4月1日から令和14年3月31日までの5年間

3、指定管理者候補者の名称、評価点及び提案金額

(1) 指定管理者候補者の名称

いいもりの森 未来パートナーズ

代表企業 名 称 住友林業緑化株式会社 環境緑化事業部 大阪営業部

所在地 大阪市中心区城見一丁目2番27号

代表者 大阪営業部長 平位 啓一郎

構成企業 名 称 株式会社ナイス

所在地 大阪市西成区出城二丁目5番9号

代表者 代表取締役 西田 吉志

名 称 南海ビルサービス株式会社

所在地 大阪市中心区難波五丁目1番 60 号

代表者 取締役社長 山本 昇

名 称 グローブシップ株式会社 大阪支店

所在地 大阪市北区天満橋一丁目8番30号

代表者 支店長 山田 厚志

名 称 日東グローブシップ・カスタディアル・サービス株式会社 大阪営業部

所在地 大阪市中心区日本橋二丁目9番16号

代表者 部長 小島 泰治

(2) 評価点(500 点満点)

386.31 点

(3) 提案金額

735,000千円(5年間の総額)

4、全申請者の評価点(得点順)

申請者順位	申請者名称	評価点(500 点満点)
候補者	いいもりの森 未来パートナーズ	386.31
次点者	阪奈エンタープライズ株式会社	359.00

5、指定管理者候補者の選定理由

指定管理者候補者の提案は、コンセプトの基本方針に掲げる「みんなで育てる公園づくり」をはじめ、霊園としての適切な維持管理を基本としながら、構成企業それぞれが有する専門性、実績及びノウハウを活かし、飯盛霊園の新たな魅力や価値の創出を目指す意欲的な内容であった。

特に、花摘み園や農園等の未利用地を活用した取組は、霊園利用者の利便性や満足度の向上に加え、新たな利用者層の獲得や霊園への来訪機会の創出につながる提案として評価した。

また、便益施設をインフォメーションセンターとして位置付ける提案、SNS等を活用した情報発信、LINE による利用者アンケートなど、利用者の声を把握し、管理運営に反映していく仕組みについても評価した。

さらに、福祉分野との連携や地域との協働、附帯事業及び自主事業による収益の還元など、従来の霊園管理にとどまらず、飯盛霊園が有する資源を活かしながら、その価値を高めようとする提案がなされている点についても高く評価した。

一方、複数の企業から構成されるグループであることから、管理運営における責任の所在や指揮命令系統を明確にする必要があるほか、一部の自主事業等については、その実現可能性や霊園・斎場利用者の心情、静穏な利用環境との調和について、十分な検討が必要である。

以上を総合的に勘案した結果、適切な維持管理を確保しつつ、多様な主体との連携や新たな事業展開を通じて飯盛霊園の魅力及び価値の向上が期待できる提案であると評価し、優先交渉権者として選定することが適当であると判断した。

【附帯意見】

指定管理者候補者が指定管理者として管理運営を行うに当たっては、提案内容を着実に実現するとともに、次の事項に十分留意されたい。

①確実な管理運営体制の構築

複数の構成企業の強みや専門性を十分に発揮しつつ、代表企業を中心として各社の役割及び責任分担を明確にし、適正かつ円滑な管理運営体制を構築すること。

②自主事業等の実現可能性の検証

自主事業及び附帯事業については、利用者ニーズや需要予測等の客観的なデータを踏まえ、事業性及び継続性を十分に検証した上で実施すること。

特に、利用者数や収益等について意欲的な目標を掲げている事業については、その実現に向けた具体的な方策を検討するとともに、状況に応じて柔軟に事業内容を見直すこと。

③霊園・斎場利用者への十分な配慮

自主事業の実施に当たっては、飯盛霊園が墓参や追悼の場であるとともに、斎場を有する施設であることを十分に認識し、霊園及び斎場利用者の心情及び静穏な利用環境に最大限配慮すること。

また、提案内容をそのまま実施することを前提とせず、飯盛霊園組合と十分に協議と調整を行い具体化すること。

6、選定評価委員会の委員名簿(敬称略)

分 類	氏 名	所属団体等	備考
学識経験者	たけだ しげあき 武田 重昭	大阪公立大学 大学院農学研究科 緑地環境科学専攻 教授	委員長
弁護士	なかみち ひでき 中道 秀樹	英知法律事務所	副委員長
公認会計士	にしだ としゆき 西田 俊幸	西田公認会計士事務所	
行 政	ささだ こうじ 笹田 耕司	四條畷市 市民生活部長	
行 政	おおつか ゆきひで 大塚 幸秀	飯盛霊園組合 事務局長	